



木造建築で3階建て集成材、保育園は2階建て無垢材を利用し、村有林の杉、檜を最大限活用したことに感銘を受けた。

「村づくりは人づくり、人づくりは教育」と言う村長の理念の下、村民総ぐるみで学校施設をつくりあげたことが理解できた。  
今野 三喜男

「村づくりは人づくり、人づくりは教育!!」を理念に、村と一緒に教育に関わる川上村公共塾をはじめ妊娠から義務教育までを連立した環境で取り組み、議会も教育の中身が大事との認識が強く、村民総意で村の存続を願う教育姿勢に研修の成果を感じました。

管原 研治

地元産杉材をふんだんに使用した義務教育学校を開校。基本設計では保護者や教職員など様々な意見・要望を取り入れていること。休日でも1室を開放し移住者・子育て世帯間の交流などにも配慮した取り組みに感動しました。

吉田 修

樹齢400年の杉を始め、村山材を活用し、保育園、小学校、中学校を一つにした木造校舎がすばらしかった。校舎内にある子育て支援を目的としたこどもセンターを設置し、保護者の悩み解消に向けた取り組みに感銘を受けた。

高橋 茂美

校舎は吉野杉を使った3階建ての完璧なレイアウトで「村作りは人作り」を合言葉に子育て支援に全力で取り組む姿勢に感心した。

特に子供家庭センターを設置し助産婦を常駐させ妊娠から義務教育終了まで子育て支援体制を取っているとの事、我が町も現在基本計画に取り組んでいるが、一貫性のある使いやすい便利な施設を期待したい。

渡部 英幸

川上村では、小中学校新築にあたり1年生から9年生までの義務教育学校としました。また、同じ建物内に保育所や放課後児童クラブも併設したことは素晴らしいことと感じました。尚、建設に当たり名産である、吉野杉・ケヤキを村有林から調達したことも地産地消の観点から高く評価しました。

五十嵐 敏夫

川上村では、小中学校を新設するにあたり、9年間の義務教育学校と保育所・放課後児童クラブも併設されており、建設に至るまでに議会や町民の考えを尊重したことは高く評価されると感じた。

高橋 きく子

人口が1200人余りの小さな村がこの様に大きな事業が出来ることに大きな驚きを感じた。村民の方の情熱が無ければ成し遂げられない事は説明を聞く中でしっかり感じ取ることが出来た。現在七ヶ宿町でも学校建設に向けての検討が始動されたので、町の子どもたちが明るく楽しく学べる学校となるよう期待したい。

高橋 浩之



▲かわかみ源流学園において

## 令和6年度 七ヶ宿町議会 行政視察研修報告

現在、七ヶ宿町教育委員会に「学校建設検討委員会」が設置され、小中学校の新設が検討されていることや、議会に新たな「ICT小委員会」を設置し、議案書のペーパーレス化や議会中継のインターネット配信など、情報発信力の強化を目指していることから、去る、12月16日～18日に奈良県川上村並びに三重県明和町へ視察研修を行いました。

川上村では令和6年4月に開校された義務教育学校「かわかみ源流学園」と木造建築の校舎と一体化している「やまぶき保育園」や「放課後児童クラブ」などを視察し、行政や議会の対応についても研修しました。

明和町では、「議会運営と議会活性化の取り組み」について、タブレットによるペーパーレス化や、町で導入しているケーブルテレビでの一般質問の放映実施の効果など、先進的なICT化の状況について視察しました。

改めて視察先の川上村様・明和町様に感謝と御礼を申し上げます。各議員の研修報告を掲載しましたのでご覧ください。(P11～P12)



川上村は、奈良県南東部にある村。吉野杉等を育てる吉野林業の中心地である。西側に大峰山脈、東側に台高山脈が連なり、吉野川の源流域にあたる。

人口 1,029人 村面積 269.26km<sup>2</sup> (令和6年12月現在)



川上村立かわかみ源流学園(義務教育学校)



伊勢街道沿いにあり、古代には天皇の名代として伊勢神宮に奉仕した斎王の住んだ斎宮(斎宮寮)があった。

人口 22,630人 町面積 41.06km<sup>2</sup> (令和7年1月現在)



斎宮跡(さいくうあと)・さいくう平安の杜